

高性能 AE 減水剤 (増粘剤一液タイプ)

ヤマソー V1-FT / V1-FTR

NETIS 登録番号:KT-160085-A

ヤマソーV1-FT および V1-FTR は適度な粘性を付与することにより、一般的な強度領域のコンクリートにおいて、材料分離抵抗性に優れ、良好な充填性を有する中流動～高流動のコンクリートを製造することができる高性能 AE 減水剤です。

特長

- 一般的な強度領域の配合において、中流動～高流動コンクリートを製造することが可能です。
- 適度な材料分離抵抗性と流動性により、施工性の良好なコンクリートを製造できます。
- 弊社独自の空気量調整剤との組合せにより、経過時間に伴う空気量の変動をコントロールすることが可能です。
- ヤマソーV1-FT は JIS A 6204 「コンクリート用化学混和剤」の高性能 AE 減水剤標準形 (I 種) に、ヤマソーV1-FTR は高性能 AE 減水剤遅延形 (I 種) に適合します。

主成分, 物性および使用方法

製品名	区分	主成分	外観	密度の範囲 (g/cm ³ , 20°C)	使用量の範囲 (C × %)	塩化物イオン (Cl ⁻) 量※ (%)	全アルカリ量※ (%)
ヤマソーV1-FT	標準形 I 種	ポリカルボン酸系化合物と特殊増粘剤	淡褐色液体	1.02~1.08	0.5~3.0	0.01 【0.00kg/m ³ 】	0.7 【0.02kg/m ³ 】
ヤマソーV1-FTR	遅延形 I 種			1.03~1.09		0.01 【0.00kg/m ³ 】	1.2 【0.04kg/m ³ 】

※ 塩化物イオン (Cl⁻) 量及び全アルカリ量は分析値例であり、【 】は C=350kg/m³、使用量 C×0.90% の場合に 1m³ に導入される量です。
 ・空気量の調整は、弊社の空気量調整剤を別途使用して下さい。
 ・ヤマソーV1-FT および V1-FTR は、単位水量の一部となりますので、使用量に応じて練混ぜ水を補正して下さい。

試験結果例

種類	使用量 (C × %)	W/C (%)	s/a (%)	単位量 (kg/m ³)		スランブ/ スランブフロー (cm)	空気量 (%)	ブリーディング量 (cm ³ /cm ²)	凝結時間 (h-m)		圧縮強度 (N/mm ²)			
				W	C				始発	終結	1日	7日	28日	
スランブフロー 50cm	ヤマソー V1-FT	1.40	51.5	52.5	175	340	50.0	4.3	0.14	8-00	10-20	8.25	35.1	45.0
スランブ 21cm	一般高性能 AE 減水剤	0.70	51.5	49.5			21.0	4.7	0.22	6-55	9-05	8.50	33.6	44.0

種類	使用量 (C × %)	W/C (%)	s/a (%)	単位量 (kg/m ³)		スランブ/ スランブフロー (cm)	空気量 (%)	ブリーディング量 (cm ³ /cm ²)	U 型充填 BOX(R2) (mm)	凝結時間 (h-m)		圧縮強度(N/mm ²)		
				W	C					始発	終結	7日	28日	
スランブフロー 60cm	ヤマソー V1-FT	1.60	44.8	52.0	170	380	60.5	5.3	0.04	331	8-05	9-40	45.5	57.7
スランブ 21cm	一般高性能 AE 減水剤	0.80	44.8	48.5			21.5	5.1	0.10	—	6-55	8-55	45.4	57.8

使用材料 : セメント 普通ポルトランドセメント(密度 3.16 g/cm³)
 細骨材 君津産山砂(密度 2.63 g/cm³、吸水率 1.52%、粗粒率 2.27)
 青梅産砕砂(密度 2.63 g/cm³、吸水率 1.09%、粗粒率 2.90) 混合比率 50:50
 粗骨材 最大寸法 20mm 青梅産碎石(密度 2.65 g/cm³、粗粒率 6.68)

JIS A 6204 形式評価試験結果例

試験項目	ヤマソ-V1-FT		ヤマソ-V1-FTR	
	高性能AE減水剤 標準形規定値	試験値	高性能AE減水剤 遅延形規定値	試験値
減水率 (%)	18 以上	19	18 以上	19
ブリーディング量の比 (%)	60 以下	20	70 以下	21
凝結時間の差 (分)	始発	-60~+90	+60~+210	+105
	終結	-60~+90	0~+210	+110
経時変化量	スランプ (cm)	6.0 以下	6.0 以下	1.5
	空気量 (%)	±1.5 以内	-1.5	-1.2
圧縮強度比 (%)	材齢 7 日	125 以上	125 以上	152
	材齢 28 日	115 以上	115 以上	137
長さ変化比 (%)	110 以下	104	110 以下	102
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	97	60 以上	95

注) 一般財団法人 建材試験センターによる形式評価試験結果
 ヤマソ-V1-FT 使用量 C×0.90%、ヤマソ-V1-FTR 使用量 C×0.95%

使用上および取扱い上の注意

1. コンクリートの性状は、使用材料、配(調)合、温度などの条件により変わる場合がありますので、あらかじめ試し練りによって性状を確認して下さい。
2. 使用量の範囲を超えて添加した場合には、凝結時間が遅れることがあります。
3. 異物や雨水、他の混和剤などが混入しないように、また、凍結しないように(凍結温度-1℃)保管して下さい。
4. 凍結した場合には、ゆっくりと暖めながら静かにかくはんし、融解して下さい。
5. 皮膚についた場合は、水と石鹼でよく洗い落として下さい。
6. 眼に入った場合は直ちに清浄な水と石鹼で十分に洗浄した後、眼科医の手当てを受けて下さい。
7. 万一誤飲した場合には、口腔内を洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。
 詳細は、安全データシート(SDS)の内容を参照して下さい。

荷 姿

バルク

- ヤマソ-V1-FTR は NETIS 登録番号:KT-160085-A へ追加申請中です。
- ここに記載された事項は、細心の注意を払って行なった弊社の実験データに基づくものですが、実際の現場における結果をすべて確実に保証するものではありません。したがって、需要家各位にて十分ご検討のうえ、ご使用下さいますようお願い致します。

 **山宗化学株式会社**
YAMASO CHEMICAL CO.,LTD.

本 社	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2丁目25番5号	☎03(3552)1341
東 京 営 業 部	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2丁目25番5号	☎03(3552)1261
大 阪 支 店	〒530-0041	大阪市北区天神橋3丁目3番3号	☎06(6353)6051
福 岡 支 店	〒812-0008	福岡市博多区東光2丁目6番6号	☎092(483)8567
札 幌 支 店	〒006-0001	札幌市手稲区西宮の沢1条2丁目3番45号	☎011(662)5552
広 島 営 業 所	〒733-0005	広島市西区三滝町14番4号	☎082(237)3083
仙 台 営 業 所	〒980-0004	仙台市青葉区宮町3丁目9番27号	☎022(224)0321
北 陸 営 業 所	〒910-0001	福井市大願寺2丁目9番1号 福井開発ビル403	☎0776(28)2566
平 塚 事 務 所	〒254-0016	平塚市東八幡3丁目6番22号	☎0463(23)5536
静 岡 出 張 所	〒422-8032	静岡市駿河区有東2丁目5番21号 テレピア静岡101	☎054(202)5111
高 松 出 張 所	〒760-0075	高松市楠上町1丁目5番15号 リビエール楠上103	☎087(863)7565